

市立小諸図書館年表

年号	できごと
明治27年4月	小諸義塾の創設者 木村熊二先生の発起により、義塾2階に県内第一号の図書館として小諸図書館が開館。
明治39年	小諸義塾の閉鎖に伴い閉館。
明治44年	小諸小学校に児童図書館が設置される。
大正3年4月	財団法人小諸図書館設立 <div> <p>小諸青年団は、図書館が社会教育の機能を果たす重要機関であるとして、総工費1万円の予算で設置運動に着手しました。青年らの想いに対して、寄付金や3000冊の新刊が寄付され、小諸小学校旧講堂を借用して開館しました。開館以降、基本金利子と町の補助金によって運営されましたが、経営難に直面。大正5年には町の有志が図書館後援会を組織して青年団を支援。町から旧校舎を無償で譲渡されました。2階建て80坪、図書5000余冊を所蔵し、新聞・雑誌が閲覧でき、音楽に関する施設、集会・懇談に要する場所などもありました。小諸小学校の児童図書館も小諸図書館の中に置かれていました。</p> </div>
大正12年3月	模範的経営が認められ、県知事から奨励金が交付される。
昭和15年	小諸町に移管。町立図書館となる。
昭和23年	創立35周年 図書祭を開催。 <div> <p>昭和23年1月一般利用者への館外貸し出しを開始し、同時に巡回文庫を設けて一般勤労者、農民に団体貸出をして便宜を計りました。佐久郷土研究会を館内に置き、藤村文庫、亜浪文庫が整えられました。</p> </div>
昭和25年	4月30日、図書館法制定。
昭和26年	昭和26年4月図書館法の制定に基づき、`図書館は奉仕機関`をモットーに新たに自由開架式と貸出登録制を実施
昭和29年	市制施行に伴い、市立小諸図書館となる
昭和37年 8月	建物新築・落成 当時の新図書館開館 <div> <p>当時の新図書館は123坪、鉄骨ブロック耐火平屋建て。工事費は618万円。二階増築ができるような構造で作られました。新築には、県下初の国庫補助金が該当になりましたが、予算が70万円不足し、市民有志の寄付により賄われました。</p> </div>
昭和46年	書庫増築
昭和50年	会議室増築 二階部分も増築。閲覧室兼集会室と資料閲覧室設置（郷土資料室兼藤村文庫と古文書室）
平成3年	閲覧室、児童室増築（平成4年にも）
平成4年	児童室増築
平成24年	旧図書館閉館（大手区に臨時図書館開館）
平成27年～	新図書館開館